No.504

りんせい

林声

2025 11月号



がんばるおかやまの事業体、今回は、うじひら木材産業株式会社を紹介します。
「ＫＩＫＯＲＵ 木こりのクレープ＆ジェラート店」を勝山木材ふれあい会館（真庭市三田）に併設して、木を身近に感じてもらえる空間でスイーツを提供しています。社長自ら店頭に立つ日もあります。

（詳細はP2に記載）

目　次

がんばるおかやまの事業体
（うじひら木材産業株式会社）…… 2
森林環境譲与税の活用事例（新見市） …… 3
普及指導区の情報（井笠普及指導区）…… 4
「盛土規制法」について …… 5
林道いかがでしょうか? …… 6
事務局からのお知らせ …… 6
大阪・関西万博と県庁県民室での県産ヒノキ等の
PR活動 …… 7
ニューフェイスです! …… 8
続けられる獣害対策をめざして …… 9
お知らせ・イベント情報 …… 10
林産物市況 …… 11
「おかやま森づくり県民税」3つの柱について③‥ 11
ぼっけ～木になる情報 …… 13
森林・林業施設の紹介
備前市学びと遊びの健康プラザ「ビーテラス」‥ 14



©岡山県マスコット「ももっち・うらっち」

がんばるおかやまの事業体
うじひら木材産業株式会社
【真庭普及指導区】

一　はじめに

うじひら木材産業株式会社は、真庭市上河内に営業所を構え、真庭市、津山市など県北部を中心に、県中南部まで事業活動を行っています。

代表取締役の氏平雄人氏にお話を伺いました。



営業所でお話しくださる氏平社長

二　創業の経緯・会社の概要

氏平氏は、20代で都会から戻ってきたところ、知人の紹介で真庭地域の林業事業体に勤めることになり、技術を身に着けました。

その社長が引退することとなり、機械を引継いで平成25年に一人で創業し、平成26年に法人設立しました。最初は伐採から出材まで全て自分でやっていたそうです。

現在の従業員は11人。林業の現場８人、事務２人、飲食部門１人。さらに、アルバイトで林業現場１人、飲食部門で複数人を抱えています。

三　事業の概要

立木買よりも土地込めの山林買取を主としており、創業時から、森林を循環利用するため、伐採だけでなく、再造林、下刈りを手掛けてきました。昨年度からシカ被害対策のため防護柵設置にも取組み始めました。

今後、創業初期に植えた山が除伐や枝打ちの時期を迎えてくれば保育施業も必要になってきます。

公園・街路樹や支障木の伐採の仕事もあり、広葉樹を有効活用するため薪を生産しています。蒜山のキャンプ場や薪ストーブ用に販売しています。



昨年度施行した再造林地
初めて施工したシカ防護柵

ホオノキやイチョウの材は、まな板として、木材ふれあい会館や道の駅で販売しています。

ナラ類の端コロなどで、しいたけの原木栽培もしており、時期には道の駅に出荷しています。



まな板『BOKU』と『KIKORU』
木製ジェラートカップ



四　柔軟な労務管理

造林、保育は、林業現場職員２人とアルバイトの計３人が担い、天候等によって薪生産やチップ加工も行います。

伐採をほかの６人で担っており、そのうち４人が20～30代と若い年齢構成となっています。

固定的な班分けはせず、現場状況と従業員の事情に応じて、誰が休んでも仕事が回せるよう、その都度割り振りします。休暇取得しやすい融通の利く運営で、働き方の自由度を高めています。朝の始業は早くとも終業は16時に帰社するので、他のライフワークを両立できることも魅力の一つです。

五　多角的な経営

勝山木材ふれあい会館の運営を盛り上げるため、「ＫＩＫＯＲＵ木こりのクレープ&ジェラート店」を開業して３年目を迎えました。

「ＫＩＫＯＲＵ」は「木こり」と動作を示す「○○する」を組合わせ、木材産業をもっと身近に感じてほしいという思いで名づけました。

ジェラートカップは紙製と木製があり、木製を選ぶと増量になります。木製カップが欲しい人のため、持帰り価格もあります。移動販売車もあり、市場の特市など地域のイベントに出店しています。

また、薪の端材をどう処理するかの思案から、営業所近くのゴルフ場の一角に「木こりのバレルサウナＫＩＫＯＲＵ」を昨年オープンしました。薪を自分で焚きながら利用する貸切りサウナで、県外からのリピーターもいるそうです。

今後も地域の森林整備にご活躍いただき、林業の意義や魅力を、若い世代の感性に響くスタイリッシュな発信で拡げてくださることを期待しています。

（真庭普及指導区　小川　章子）

森林環境譲与税の活用事例
新見市の取組み
【新見普及指導区】

令和6年度の税制改正で、温室効果ガス排出削減目標達成や災害防止、あるいは、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、私有林人工林面積の割合が多い山間部の市町村に手厚い配分となるよう、森林環境譲与税の見直しが行われました。

新見市では、当該措置を有効活用するよう日々検討されています。

一　森林経営管理制度の取組状況

新見市は「新たな森林管理システム構築事業」として森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合、森林所有者から経営管理の委託を受け、林業事業体等に再委託できる「森林経営管理制度」に取り組んでいます。令和元年度の制度開始から6年度末までに約1千5百㌶の私有林所有者に意向調査が行われました。

意向調査の結果、市に管理・経営委託を希望された方については再度意向確認を行い、経営管理権集積計画の作成に取り掛かっています。

また、譲与税の一部は、所有者に代わり管理するための森林整備に備えた積立にも充てられています。

二　地域課題への活用状況の例

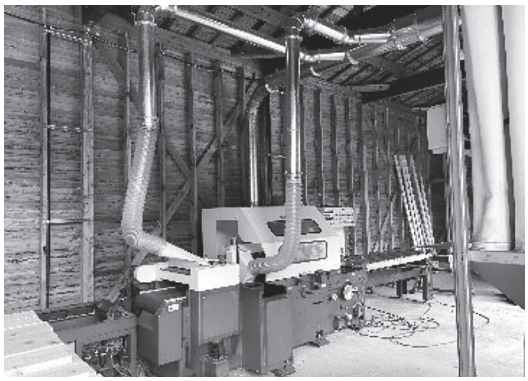
○木質バイオマス利用推進

木質バイオマス発電所への未利用材の安定的な供給体制整備と森林整備の促進を目的に、林地残材をチップ工場に搬出した場合の搬出補助に500円／t

○森林整備事業

・再造林奨励金　10万円／㌶

・木材生産支援　高性能林業機械中古機械購入経費の助成1／3



木材生産支援(中古マルチ自動四面かんな盤)

○林道・作業道災害防止用原材料支給事業

路面洗堀防止のために行うコンクリート舗装や排水施設の充実に係る原材料に上限200千円



路面洗堀防止のコンクリート舗装

○ウッドスタート事業

新見産材を使用した木のおもちゃの幼児への配布による木育の推進



ウッドスタート(木のおもちゃの配布)

○新見産材のぬくもりを活かした家づくり支援事業

・新築　700千円

・増改築　300千円(上限)

○新見市木造建築業者支援事業

・新築　300千円

・増改築　200千円(上限)

○木造公共建築物等の整備



レストランしんごう外トイレ新築

他にも、有害鳥獣捕獲や担い手確保としての林業就業ガイダンスの開催など、林業の振興から担い手対策、木材利用拡大、防災対策に至るまで、森林に係るあらゆる施策に活用されています。

（新見普及指導区　渡邊　康太郎）

普及指導区の情報

「井原市森林組合の新体制について」【井笠普及指導区】

一　はじめに

岡山県西南部に位置する井原市森林組合は、井原市を中心に、森林の公益的機能を維持するために、森林環境の保全に向けた整備を行っています。

この度、役員として新たに就任されました代表理事組合長の山本忠義氏、常務理事の井口勝志氏にインタビューをしましたので、その内容を紹介します。



代表理事組合長
山本 忠義 氏



常務理事
井口 勝志 氏

二　自己紹介

○代表理事組合長　山本忠義

井原市内の民間企業（製造業）で品質管理や開発等に関わると共に、工場の安全管理者として勤務され、総務、取締役等を歴任されました。退社後、森林組合総代２期、理事１期務めた後、組合長となりました。趣味は詩吟で、座右の銘は「心に太陽をもて」です。

○常務理事　井口勝志

井原市役所の勤務45年を経て、常務理事となりました。森林関係の勤務は５年間ということもあり、森林組合業務も含めてまだまだ未熟で、分からないことも多いと、気を引き締めておられました。趣味はスポーツ（野球など）と音楽の鑑賞、読書とのことです。

三　地元井原市の森林に対して

《山本組合長》

森林は水源涵養の機能を有し、近年頻発する集中豪雨による土砂災害や洪水の防止に役立っています。生物多様性の保全、二酸化炭素による地球温暖化防止など私たちの生活に多大な恩恵をもたらしています。森林組合として、森林を守っていくことが非常に重要です。

《井口常務理事》

子どもの頃、祖父の薪づくりに付いて山遊びをし、秋には松茸取りに出かけました。今は手が入らず、荒れ放題となっています。何とかならないかと思っています。

四　就任の抱負

《山本組合長》

事業取扱高アップと経費の節減で剰余金を計上することはもちろんですが、職場改善や安全指導を行い、労災ゼロで働きがいのある職場づくりを目指したいと考えています。

《井口常務理事》

組合の目標達成に向け、自らの経験を活かして正副組合長を補佐し、森林等の整備を通じて、生態系の維持や住環境の改善に寄与していくとともに、風通しの良い職場体制（環境）づくりを進めていきたいと考えています。

五　これからの森林組合に対して

山本組合長は、「井原市森林組合は、組合長、常務理事が令和７年６月27日の通常総代会の後、一度に交代いたしました。まだ、数か月で森林組合の仕事が十分理解できていませんが、早く理解できるよう努めますので、ご協力よろしくお願いします。役職員一丸となって森林組合の発展のためがんばります。」とこれからの意気込みを語ってくれました。

六　おわりに

森林組合は、松くい・ナラ枯れ被害対策や環境整備、森林経営管理制度の実施など井原市と連携しながら里山整備等を進めていますが、新体制となった森林組合に対して、今後の取組の方向性が明確になるように、助言・指導を行っていきたいと考えています。

（井笠普及指導区　岡田　和久）

新たな規制が始まっています！「盛土規制法」について

盛土等による災害から国民の生命・身体を守る観点から、盛土等を行う土地の用途やその目的にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」（通称「盛土規制法」）が、令和5年5月26日に施行されました。（国土交通省と農林水産省による共管法）

岡山県内においては、県、岡山市及び倉敷市により、令和7年4月1日に県全域を規制区域に指定し、規制事務を開始しています。

1　規制区域

（1）宅地造成等工事規制区域

市街地や集落、その周辺など、盛土等がされれば人家等に危害を及ぼしうる区域

（2）特定盛土等規制区域

市街地や集落等から離れているものの、地形等の条件から盛土等がされれば人家等に危害を及ぼしうる区域

2　許可・届出が必要な工事

規制区域の中で高さが1メートル超の崖を生じる盛土など、土地の形質の変更や土石の堆積をする工事は許可や届出が必要とされています。

詳しくは県ホームページで確認してください。

県HP

3　森林・林業関係工事等の規制

森林整備や森林土木工事に伴う取扱いについて解説します。

（1）林道施設・治山施設

林道施設は、国又は地方公共団体が管理又は監督する道路（公共施設用地）となり、規制対象外です。

また、治山施設は、盛土規制法施行令第2条の主務省令で定める国又は地方公共団体が管理する林地荒廃防止施設（公共施設用地）となり、規制対象外です。

なお、公共事業で発生した残土を処理する施設で、公共施設に該当しないもの（林道や治山などの工事に伴い発生した残土を単に処分する残土処理場）は規制対象となり、工事の規模によっては許可・届出が必要となる場合がありますので注意してください。

（2）森林作業道等（森林の施業を実施するために必要な作業路網の整備に関する工事）

工事を行う土地の市町村森林整備計画に作業路網等の施設整備に関する事項が記載され、

①国が示す森林作業道作設指針に即して作設された森林作業道

②主伐時における伐採・搬出指針に即して作設された集材路

③林業専用道作設指針に即して作設された林業専用道

④これらの指針に示された目的のために作設された、必要最小限の土場等の整備

は規制対象ですが、災害の発生のおそれがないと認められる工事として許可・届出の手続きが不要の扱いとなっています。

（3）林地開発許可を受けた工事

盛土規制法は、盛土等による災害から国民の生命・身体を守ることが目的であるのに対し、森林法に基づく林地開発許可制度は、森林の有する公益的機能を維持することを目的としています。

それぞれの法の目的、許可基準が異なることから、林地開発許可を受けた工事であっても盛土規制法の規制対象となる場合がありますので注意してください。

4　危険盛土等の取扱い

許可・届出の手続きが不要の扱いであっても、災害の発生のおそれのある危険盛土等については改善命令の対象となり、罰則の対象となりますので注意してください。

5　許可申請の手引き

盛土規制法の具体的な制度の概要や許可に必要な技術的基準、諸手続きの要領をまとめた「許可申請の手引き」を県ホームページで公開しています。

【問合せ先】

岡山県土木部都市局建築指導課
盛土対策班
電話：０８６－２２６－７８６８
Mail: kenmoridо@pref.okayama.lg.jp

※岡山市、倉敷市、玉野市、笠岡市における手続きについては、各市の担当窓口にお問い合わせください。

・岡山市開発指導課
・倉敷市開発指導課
・玉野市都市計画課
・笠岡市都市計画課

林道いかがでしょうか？

林道は、持続可能な林業を営む上で必要不可欠な生産基盤であるとともに、集落間の連絡道として山村地域の生活環境の改善や地域の振興にも寄与しています。

また、災害時には避難のための迂回路としても利用されるなど、林道の役割も多様化しているところです。

県では既設林道の法面保護や舗装、排水施設の見直しをはじめ、拡幅や勾配の緩和、橋梁・トンネルの点検整備など、きめ細かな事業メニューの活用による強靭な林道への改良を促進しています。

しかしながら、近年林道事業の計画・要望が少なくなってきており、比較的事業化が進めやすい環境になっています。

間伐等の森林整備に林道を活用されている皆様におかれましても、林道の新設や改良の必要性を感じる路線情報がありましたら、市町村担当課にお知らせください。

（治山課　整備班）



【施工後】



【施工前】

法面保護、排水施設等の改良



林道を活用した森林整備

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【会員の特典】

① 県内情報誌「林声」年間６冊
② 全国情報誌「林業新知識」12 冊
③ 全国林業改良普及協会発行の専門誌が割引価格で購入可能
④ 関係イベントの案内

※年会費 2,500 円です。

【問い合わせ・送付先】
〒７０１―１２０２
岡山市北区楢津４９１―１
（岡山県森林組合連合会内）
☎０８６―２３６―６５３０

◎林声９月号の誤記のお詫び

平素より当情報誌のご愛読ありがとうございます。

先日お送りいたしました林声９月号のＰ４に、倉敷普及指導区の取組を掲載していたところですが、内容と異なる見出しを掲載してしまいました。

（正）「地域再造林推進ワーキンググループ」の取組について
【倉敷普及指導区】

（誤）「地域再造林推進ワーキンググループ」の取組について
【高梁普及指導区】

訂正をさせていただくとともに、関係者及び読者の皆様には大変ご迷惑をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

今後とも変わらずご愛読を賜りましたら幸いでございます。

よろしくお願い申し上げます。

大阪・関西万博と県庁県民室でのヒノキ等のPR活動

一　はじめに

本県は、県北部を中心に豊かな森林資源に恵まれ、特にヒノキ（丸太）の生産量は全国トップクラスであり、令和6年の生産量は1位となりました。また、豊富な森林資源を背景に、多くの木材流通・加工施設が立地した西日本有数の国産材加工県でもあります

これらを県内外で広くPRする取組として、8月22日～24日に大阪・関西万博で開催した岡山県催事での県産ヒノキのPR活動と10月20日～10月24日に県庁1階県民室で開催した「木になる木づかい情報発信」についてお知らせします。

二　取組の内容

①大阪・関西万博での岡山県催事での県産ヒノキのPR

来場者に全国トップクラスのヒノキ生産県であることや万博会場の目玉の1つである大屋根リングの製造・加工に県内の企業が携わったことなどについて記載したパネルを展示しました。併せて、県産ヒノキで製作されたボールプールを設置したところ、連日子供を中心に多くの方に入って楽しんでもらえました。

来場者からは「ヒノキボールの香りや感触がとても良い」、「岡山県がヒノキ生産量トップクラスであることを初めて知った」、「大屋根リングの製造・加工に岡山県の企業が携わっているのは知らなかった」などの感想がありました。

また、県産ヒノキ等に関するクイズを用意し、全問正解した来場者に木製ガチャを回してもらい、県産ヒノキマグネットをプレゼントしました。



大阪・関西万博
ヒノキボールプールを楽しむ子供たち

②企画展示「木になる木づかい情報発信」での普及啓発

出展企業・団体は現在、県と民間建築物における県産材利用を促進する協定を締結しているライフデザイン・カバヤ（株）、（一社）岡山県木材組合連合会及び今年度中に新たに協定締結を予定している（一社）岡山県建築士会です。

また、県の森林研究所木材加工研究室や建築指導課にも協力いただきました。

各出展者の主な展示品は、次のとおりです。

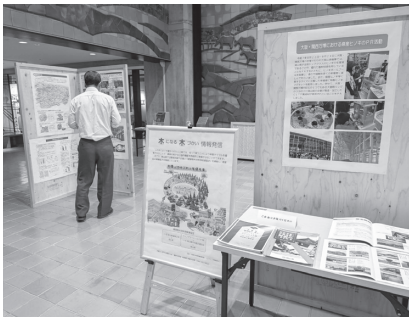
○ライフデザイン・カバヤ（株）
　住宅で標準採用を進めている県産森林認証材を用いた高さ約3メートルの実物大CLTパネル

○（一社）岡山県木材組合連合会
　木造住宅の普及促進や、国内外での販路開拓の取組等の紹介パネル

○（一社）岡山県建築士会
　現地セミナーを開催した民間木造非住宅の紹介パネルや、県産ヒノキの表面に「なぐり加工」を施した壁板実物展示

○森林研究所木材加工研究室
　ヒノキの香りの研究に関し、異なる乾燥方法での香りが比較できるサンプルや乾燥する際に得られるヒノキの精油

ほかにも、県産材利用による林業サイクル循環の意義や、県施設における県産材活用事例の紹介パネルの展示も行いました。



県民室での展示状況

三　おわりに

大阪・関西万博での岡山県催事会場には、3日間で約7万人の来場があり、関西圏を中心とした来場者に本県がヒノキ生産県であることなどをPRすることができました。

今後も、県内外でのPR活動や木材利用促進による林業サイクル循環の意義についての普及啓発を図り、県産材の需要拡大に取り組んでまいります。

（林政課　林業木材班）

ニューフェイスです！ 津山市森林組合

今回は、津山市森林組合に令和7年4月から採用された小林聖大さんと矢吹由芽さんの2名を紹介します。



写真左が矢吹さん、写真右が小林さん

小林（こばやし）　聖大（せいた）さん

一　経　歴

津山市の出身で高校までは、地元で過ごされ、徳島大学工学部を卒業後は民間企業で経理部門を担当されていました。

現場に出て仕事をしたいと思っていた小林さんは自然が好きだったこともあり、「にちなん中国山地林業アカデミー」で学び、地元にある津山市森林組合に就職されました。

二　仕事内容

造林事業などの申請手続きや現場管理、Jクレジットの取り組みなどを担当されています。

「事務作業が多いですが、現場に出て作業を行うこともあり、様々なことを学べています。」と話されていました。

三　今後の抱負

「森林経営計画の策定から施業の実行管理まで一貫した仕事に取り組みたいという思いはあります。先輩職員の行っている様々な業務を経験し、後輩にしっかりとつないでいけるようになっていきたいです。」と話されていました。



測量を行う小林さん

矢吹（やぶき）　由芽（ゆめ）さん

一　経　歴

真庭市の出身で、市内の高校を卒業後、美作大学で栄養学を学んでおられました。叔父が森林組合の職員であったことや自然が好きだったこともあり、津山市森林組合に就職されました。

二　仕事内容

造林事業などの申請手続きや現場管理、官公庁等の森林整備事業について担当されています。

「施業完了時は住民の方から感謝されることが多く、やりがいを感じています。」と話されていました。



事務作業中の矢吹さん

三　今後の抱負

「はじめての分野でわからないことが多く、仕事をこなすことで手一杯ですが、充実した日々を過ごしています。まずは、自分に与えられた業務を着実にこなしていき、しっかりと知識を身に着けていけるようになりたいです。」と話されていました。

上司から一言

上司の福田参事に伺うと、「2人ともパソコンでの作業の呑み込みが早い。そういう人が増えてくれるのは大変助かる。仕事や職場環境について意見を出してもらって改善していってほしい。そのためにも私たちも寄り添って一緒に仕事をしていきたい。」と笑顔で話されていました。

最後に

お忙しいところ快く取材に応じていただき、ありがとうございました。小林さん、矢吹さん両名のこれからのご活躍を期待するとともに、当普及指導区としても支援していきたいと考えています。

（津山普及指導区　桑元　亮輔）

続けられる獣害対策をめざして



岡山県内のスギ・ヒノキ人工林は、著者が就職した四半世紀前には、すでに伐期を迎えつつあるといわれていました。その後も高齢級化は進み、現在、41年生以上の人工林面積は、ヒノキで80％、スギにいたっては95％を超えており（図1）、将来の安定的な森林経営のためには、齢級構成の平準化を図ることが必要です。

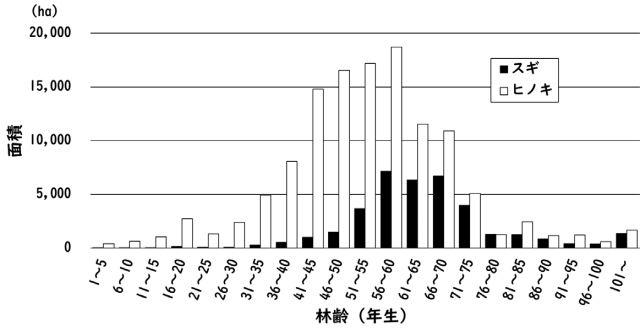


図1　県内のスギ・ヒノキ人工林の林齢別面積
「岡山県の森林資源」(令和6年3月31日現在)より作成

県では伐採と、その後の再造林に向けて取り組みを進めているところですが、造林に係る経費の軽減や育林に係る労務負担の改善などが課題とされています。また、再造林において重要視されているのが獣害対策です。

森林研究所では、シカによる林業被害の軽減に向けた対策として、令和3年度まで取り組んだ研究成果のひとつである、侵入防止柵の管理方法に関する手引書を研究所のHPで公開しています。

https://www.pref.okayama.jp/soshiki/209/。

現在、様々な地域で造林地における獣害対策の認識が高まってきており、当所に多くの問い合わせをいただいています。その内容は、低コストで効果的な防護資材や、食害を受けにくい樹種、防護資材に頼らない獣害対策など、多岐にわたりますが、その中でも、設置後の防護資材の管理方法に関する問い合わせが多くなってきていると感じています。

防護資材は目的に合った資材を選択し、適切に設置すれば高い獣害防止効果を発揮しますが、林内は設置環境としては非常に厳しいため、効果を持続させるためには適切な管理が必要であり、なおかつ、これを継続的に行うためにはコストと労務、両面の負担を少しでも軽減することが大切です。

手引書をまとめる際に行った調査では、侵入防止柵の設置直後にしっかり点検・補修することで、噛み切りなど、シカが柵内への侵入を試みた形跡の件数が急速に減少しました。また、その後も点検・補修を続けていると柵内に侵入できないことが常態化し、点検の回数を大幅に少なくしても噛み跡など、柵体に干渉した形跡は、ほぼ確認されなくなりました。

侵入防止柵に限らず、防護資材の設置直後に点検を行うことは、噛み切りや持ち上げなど、シカによる資材の損傷を減少させる以外にも、施工時の不具合を発見、修復できる効果があります。獣害対策は大面積で実施することが多く、一つのミスもなく施工することは難しいですが、野生鳥獣はそのような箇所を巧みに探し出して侵入します。このため、それらを未然に防ぐことで本来の防護効果が発揮できるようになります。

シカによる森林被害は、被害が少ない間は見落とされがちで、発見した時にはすでに被害が甚大になっているという事例もよくみられます。また、野生鳥獣の正確な生息状況の把握は難しく、耕作地に被害が出て、シカがいることに気付いた時には、林内ではすでに数多く生息し、森林被害が進んでいることもあります。そのため、まだシカを見かける件数が少なく獣害がない地域でも、今から対策を始めることを強くお勧めします。

手引書には、ドローンを用いた自動飛行による点検方法について掲載していますが、通信が維持できない起伏が激しい地形や、設置延長の長い侵入防止柵の点検では、飛行プログラムを作成することが難しく、不向きであることがわかりました。一方で、シカによる干渉を特に受けやすい箇所に限定した自動飛行による定期点検や、台風や雪害時の緊急点検であれば、ドローンによる省力的な調査が効果的です。

これらのことを踏まえながら、様々な手法を組み合わせるなどして、継続的に獣害対策を実施する必要があると考えています。

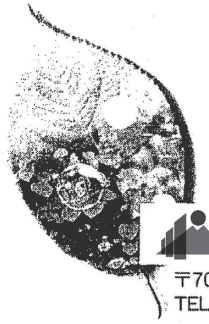
（林業研究室
専門研究員　三枝　道生）

技能講習会の開催（12月～2月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名　　称	会場	日　　程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	津山	12月17～19日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 TEL(086)236-7077 林災防岡山県支部 HP
	岡山	１月14～16日、２月４～６日	
伐木（特別教育）	津山	１月22日	
※15名以上の受講者がある場合は、「伐木特別教育」又は「刈払機安全衛生教育」の特別開催（出張）を実施することができます。			
小型移動式クレーン運転	岡山	１月15～16日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
	笠岡	１月15～16日（サテライト）	
玉掛け	岡山	12月４～５日 １月８～９日、１月10～11日 ２月５～６日	
	津山	12月11～12日 １月22～23日 ２月19～20日	
	笠岡	２月12～13日	
	玉野	12月11～12日（サテライト） ２月19～20日（サテライト）	
フォークリフト運転	岡山	12月３日、12月６日、１月14日 ２月４日、２月14日	
	玉野	１月15日（サテライト）	
	新見	12月２日（サテライト）	
	笠岡	２月17日	
	津山	12月２日、１月15日、２月３日	
	赤磐	10月27～28日	
不整地運搬車	赤磐	12月18～19日 １月８～９日 ２月16～17日	(株)ＰＣＴ （旧(株)PEO建機教習センター） 岡山教習所　TEL(086)956-2170

防腐技術と加工技術で、人と森と未来を繋ぐ



公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社
〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代)　FAX 086-262-0130

優良種菌で確かな収穫
もりのたねごま
◆シイタケ，ナメコ，ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。
製造総発売元　森産業株式会社
岡山営業所　岡山市北区辰巳46－104
TEL 岡山(086)805－7033㈹

おかやまの木で家づくり支援事業
助成金額：最大３０．４万円／戸
助成対象者：
①県内で認証材を４㎥以上使用して新築する住宅（３５０戸程）
②　〃　〃　民間非住宅（５０件程）
③　〃　１㎥以上使用して改修する住宅（１００戸程）
詳細はこちら　⇓
http//www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html
一般社団法人 岡山県木材組合連合会
〒700－0902 岡山市北区錦町1－8（岡山県木材会館内）
TEL (086) 231－6677　FAX (086) 232－7549



緑あふれる環境づくり
株式会社 山都屋
本社　〒703-8273 岡山市中区門田文化町２丁目11番51号
TEL (086) 272－2161　FAX (086) 272－2142
http://www.yamatoya-net.com
大阪営業所　津山営業所　水島営業所

林　産　物　市　況



●木材（10月20日）

・出 荷 量　　約2,000㎥

単位：千円／㎥

樹種	長さ	径級	直材	小曲り	概　況
杉	3ｍ	14～16	12	～	杉概況 【3m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 【4m】 中目材　横這い 元　木　横這い
		18～20	12	～	
		22～28	12	～	
	4ｍ	20～22	11	～	
		24～28	12	11	
	6ｍ	16～18	—	—	
檜	3ｍ	15～16	24	21.5	檜概況 【3m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 元　木　横這い 【4m】 柱　材　横這い 中目材　横這い 元　木　横這い
		18～20	23	21.5	
		22上	22.5	22.5	
	4ｍ	16～18	23	22	
		20～22	21	20	
		24～28	24	22	
	6ｍ	16	—	—	
		18～20	—	—	

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値



●製材（10月）

価格：円／㎥

樹種	寸　法	等級	区分	安値～高値	備考
スギ	正角3ｍ　10.5cm角	特等	K	70,000～	
	正角3ｍ　12cm角	特等	K	65,000～	
ヒノキ	正角3ｍ　10.5cm角	特等	K	80,000～	
	正角3ｍ　12cm角	特等	K	75,000～	
	正角4ｍ　10.5cm角	特等	K	80,000～85,000	
	正角4ｍ　12cm角	特等	K	～75,000	
マツ	平角4ｍ 10.5～12cm×15～18cm	一等	K	100,000～	
米マツ	正角3ｍ、4ｍ 10.5cm角	特等	G	91,000～	
	平角3ｍ、4ｍ 10.5×15～21cm	特等	K	101,000～	
北洋アカマツ	タルキ4ｍ　3.8cm角	特等	K	120,000～	
ホワイトウッド	間柱3ｍ 3.0×10.5cm	特等	K	93,000～	

注１：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注２：区分のＫとは人工乾燥材、Ｇとは未乾燥材のこと。

おかやま森づくり県民税　３つの柱について　～③～

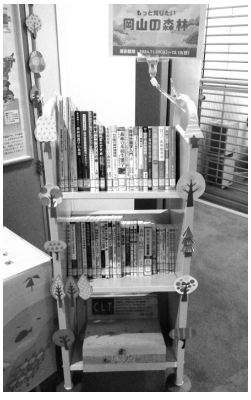
県では、「伐って・使って・植えて・育てる」という林業サイクルの循環のため、おかやま森づくり県民税を活用し、３つの柱に沿った森林の保全に関する各種事業を行っています。

今回は、柱の３つ目である「森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進」の取り組みについて紹介します。

【県民への情報提供等】

森林の働きや林業の役割を普及啓発するため、一般県民の方が参加するイベント等でのパネル展示や小学生向けの副読本の作成等を行っています。

また、森林・林業関係の学習を行う県立高等学校の生徒を対象に、林業就業に向けた技術実習や林業関係の先進地視察等を実施するほか、森林と関係が深いテーマの図書を購入し、県立図書館で展示しています。



森林関連図書の展示

【県民参加による森づくり活動の推進】

森林ボランティアグループや企業等による森づくり活動を支援し、参加者が森の恵みを楽しみながら地域の森づくりを行う取り組みを推進しています。

この他にも、みどりの大会やみどりの少年隊交流集会、環境学習エコツアー（森林環境学習コース）を開催するなど、森林・林業・木材産業についての理解を深める機会を創出しています。



みどりの大会の開催

（林政課　普及指導班）

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

森林保険

加入できる森林は？　人の手が加わった森林
加入期間は？　１年単位で何年でも！
保険金がでるのは？
火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
岡山県では過去５年間で約２千８百万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース（1ha あたり）

樹　種…ヒノキ　契約時林齢…1年
保険期間…5年　保険金額…最大188万円
一括払いだと 25,324円（５年間計）

1ヶ月あたり 約420円 → おむすび ３個分

樹　種…ヒノキ　契約時林齢…26年
保険期間…5年　保険金額…最大299万円
一括払いだと 42,129円（５年間計）

1ヶ月あたり 約700円 → ラーメン １杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
○条件によって契約金額が変わってきます。
○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。


森林保険公式キャラクター　そよりん　たもちぃ

林業機械

中古林業機械
売ります！買います！

林業機械

HITACHI 日立建設機械 油圧ショベル
Logisnext 三菱ロジスネクスト フォークリフト
STIHL チェーンソー
各種林業アタッチメント
KESLA　NANSEI
MAFUJI　MORooka

各種機械のレンタル・修理も承ります！

富士岡山運搬機株式会社

林業機械

本社　岡山県津山市津山口111-1　TEL：0868-24-3211
新見　岡山県新見市石蟹267-9　TEL：0867-76-9077
岡山　岡山県岡山市中区江崎84-1　TEL：086-277-5100
鳥取　鳥取県鳥取市南栄町33-15　TEL：0857-50-1985

ぼっけー木になる情報

Q. これから空気の乾燥する時期を迎えるにあたり、山火事にはどのようなことに注意しなければなりませんか？

A. 今年に入り、岩手県大船渡市を始め日本各地で大規模な山火事が相次ぎ、本県でも、岡山市南区及び玉野市において、焼損面積４８６㌶（ヘクタール）となる山火事が3月23日に発生しました。空気が乾燥する時期を迎えるにあたり、林野火災の特徴と注意点を以下にまとめました。

1　山火事の発生時期

山火事は降水量が少なく、空気が乾燥し、強風の吹く2月から5月頃にかけて多数発生する傾向にあります。本県の過去5ヵ年平均では、約6割がこの時期に発生しています。

2　山火事の原因

本県での出火原因の最も多くが「たき火」で42％を占めており、次いで「枯れ草焼き」「放火等」「たばこ」等となっています（過去5ヵ年平均）。全国でも類似の状況となっており、原因の多くは人の不注意によるものです。

3　山火事を防ぐ6つのポイント

○強風時や乾燥時は火を使わない
○たき火の後始末は完全に行う
○タバコの投げ捨ては厳禁
○火遊びはしない、させない
○火入れや野焼きなどは一人でしない
○火入れをするときは許可を受ける

4　お願い

山火事はひとたび発生すると貴重な森林が広く失われ、その回復には長い年月と多くの労力を要します。

人命や財産を守り、豊かな森林を次の世代へ引き継ぐためにも、火の取り扱いには十分な注意を払っていただき、山火事予防へのご理解とご協力をお願いします。



焼失した森林の状況

（治山課　保全班）

～デジタルサイネージに掲出しています～

岡山県森連では、岡山県がヒノキの生産量全国トップクラスであり、林業が盛んであることの認知を広めるとともに、岡山県産材の積極的な利用が、カーボンニュートラルな社会の実現につながることを広く県民に周知することを目的として、岡山市北区の国体町と倉敷駅のデジタルサイネージに期間限定で掲出しています。

お近くを通られた際は、ぜひご覧ください。

（岡山県の「森を知る情報発信事業」を活用しています）



「緑の募金」ご協力をお願いします
緑の募金で進めようSDGｓ（持続可能な開発目標）
募金期間
春のみどりの月間
4月1日～5月31日
秋のみどりの月間
10月1日～10月31日
口座振込はこちらへ
ゆうちょ銀行　00230-3-144752
※窓口では手数料がすべて免除となります
中国銀行岡山駅前支店　普通1852041
トマト銀行岡山駅前支店 普通1027972
寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。
公益社団法人 岡山県緑化推進協会
岡山市北区錦町１－８　TEL・FAX (086)221-9511

林声

令和七年十一月一日（第五〇四号）
（隔月一日発行）

編集
発行　〒701-1202 岡山県森林組合連合会内　岡山県林業改良普及協会
岡山市北区楢津四九一―一

森林・林業施設の紹介

備前市学びと遊びの健康プラザ「ビーテラス」木製遊具

令和7年8月1日に備前市西片上地区にオープンした「備前市学びと遊びの健康プラザ「ビーテラス」」に設置された木製遊具を紹介します。

ビーテラスは、約20年にわたり閉館していた旧大型商業施設「アルファビゼン」を有効活用しようと備前市が改修したものです。

1階には、親子が楽しく過ごせるおもちゃ広場と子育て支援センター、2階には、あらゆる世代が学びあう場としての公民館が入った複合施設となっています。



ビーテラス（全景）

おもちゃ広場には、木のぬくもりを生かしたジャングルジムやツリーハウス、築山が配置され、人工芝のスペースも設けられており、天候に左右されず子どもが安心して遊べる環境となっています。

休日には多くの子どもたちで賑わっており、木製遊具で遊ぶ子どもたちの声が響き渡ります。



木製遊具（おもちゃ広場）

本施設の利用を通して木材に触れる機会を創出することで、木材のぬくもりと心地よさを体感してもらい、今後の県産材の利用促進に繋がることを期待します。

（東備普及指導区　野崎　晋也）

林業機械のご購入・修理・買い替えのご相談は
美津吉商事株式会社
岡山県津山市一方194／TEL 0868-23-2255
≪津山・真庭・倉敷・鳥取・倉吉≫
https://www.mitsuyoshi.com
イワフジ　ハスクバーナ　ゼノア
新ダイワ　共立　シングウ　大橋
ＳＴＩＨＬ　マキタ　ファナー　他
確かな技術と製品で作業の安全性をサポートします！
お近くのお店へお気軽にご相談ください。

ー 安全・人と自然・調和 ー
美林を育てる
〔林地除草剤〕ザイトロン微粒剤・ケイピンエース
造林木を野生動物の食害から守る
〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤
〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ　〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫
〔樹幹注入剤〕マツガード・他　〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他
お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ
販売：日植アグリ株式会社　TEL.086-292-5525
販売元：大同商事（株）大阪営業所　TEL.06-6384-1288

この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。
認定番号 K0301090